

平成 26 年度第 3 回湖南省総合計画審議会

議事要約

日 時	: 平成 27 年 3 月 19 日 (木) 午後 2 時～ 4 時
場 所	: 共同福祉施設 2 階 大会議室
出席者	: 委員 18 名
欠席者	: 7 名

1. 開会 (事務局)

第 3 回湖南省総合計画審議会を開会する。
過半数以上である 18 名の出席を得ており、成立。
第 1 回及び第 2 回審議会を欠席の委員の自己紹介。(省略)

2. 会長あいさつ (要旨)

皆様こんにちは。ご苦勞様である。この審議会も本日が 3 回目の会議ということで、基本構想の中身についての議論に入ることとなる。

これまでも確認してきたとおり、人口が減少する時代の総合計画をつくっていくということで、これまで私たちが経験したことのない条件下でのまちづくりについて議論することになる。皆さんそれぞれのお立場から湖南省のこれからのまちづくりについてご意見をいただき、有意義な議論ができればと考えている。どうぞよろしく願います。

3. 審議

1) 第 2 次湖南省総合計画基本構想 (案) について (事務局より資料説明) (省略)

意見交換

●会長

ただ今の事務局からの説明について、ご意見、ご質問はないだろうか。

●委員

人口減少への歯止めについては、やはり、交通整備が重要である。私の娘は交通の利便性が低いなどの理由で市内に住んでいない。湖南省は草津線、バスの利便性が低い。大都市のように私鉄でも整備するようになれば、若い人が帰ってこないのではないだろうか。湖南省の良いところは、自然が豊かで環境が良く、犯罪等が少ないところである。この強みを最大限に生かすためにも交通環境の充実が必要である。

●事務局

委員のご指摘の通り、湖南省ではこれからも交通環境の整備が課題であると認識している。人口流出の一番の理由は、就労ではないかと考えている。魅力的な就労場所が市内に豊富にあれば、大都市の大学を卒業後も湖南省に帰ってきていただけるのではないかと考えている。湖南省の魅力を感じていただけるようにプロモーションを重ねていきたい。

●委員

工場ばかりを誘致しても仕方がない。例えば、石部には福祉施設が施設立地している。土地利用イメージ図では西部都市ゾーンの西部・やすらぎの街となっている。この西部ゾーンで学校やエコな産業を誘致するような計画はできないだろうか。

石部南の住民は福祉施設と共存している。このような住民風土を活かしながら、例えば、薬物治療などの施設が誘致されても対応できる地域ではないだろうか。

●事務局

委員のご意見の通り、湖南省には福祉施設が多く福祉のまちづくりが盛んな都市である。これを活かした就労の場の創出も重要ではないかと考えている。また、働く場については、資料48ページに記載の〈主な事業〉の6番目に「新たな企業・研究型企業等の誘致」のように、あまり、大きなエネルギーを必要としない企業の誘致の必要もあるのではないかと考え記載している。

●委員

湖南省内には空き家が増えてきている。地域コミュニティでの憩いの場所などへの活用が考えられ、進められてはいるが、実際にはなかなか利用が進んでいない。待機児童対策に活用するなど柔軟な発想、対応が必要ではないだろうか。

●事務局

湖南省内においても、空き家は年々増えてきている事実がある。ご意見の通り、高齢者福祉の小規模多機能居宅介護事業所などとして再利用の方向で活用していきたいと考えている。

●会長

いろいろと課題は山積していると思うが、どのような方向へ湖南省を持っていくのかをまず、考えていただき、次にそこへ持っていくためにどのような手立てがあるかについて議論をしていきたい。まず、将来、どのようなまちに住みたいのか、ご意見をいただきたい。

●委員

人口減少は、本当に切実な問題である。北海道、秋田、島根などは非常に厳しいとうかがっている。また、意外と静岡も厳しいと伝わっている。

問題の克服に向けて教育が非常に重要だと考えている。湖南省は教育面が凄く充実しているまちであるとアピールできると良い。飯塚市では青年会議所が中心となって無料で子育て支援の事業を実施したら、非常に評価されて、子供とお母さんがお父さんを置いて転入してきている。教育が非常に重要である。

湖南省にはのんびりと散歩ができる健康的な環境がある。野洲川の護岸を三世代で散歩できるような遊歩道ができると良い。栗東市に新幹線新駅ができないのは残念だが、リニ

アモーターカーができるまでに、草津線の複線化の実現を大きな目標に掲げていただくと、みんなで共有できる大きな目標ができる。国も目標を設定して着実に進める地域、地元が活発な地域には予算を配分すると聞いている。

●委員

湖南省の人口が平成2年までに大幅に増加した理由を分析することが重要だと考える。工業団地が整備され、外国人の転入も多かった。今は当時の勢いがすっかりと失われているのは、リーマンショックや不景気のせいなのか、もう少し分析が必要ではないだろうか。当時、湖南省においてどのような暮らしがあったのか、人口が増えた理由を分析してみると今後の対策が見えてくるのではないだろうか。

一方で農地は遊休化が進んでいる。もっと農業を担ってくれる人が必要である。

地方と東京都で若者の取り合いとなる。空き家を安く若者に提供できるようにすると、若い人の誘致ができるのではないだろうか。工業誘致でなく若者の誘致に取り組んではどうだろうか。

●会長

人口の分析には、まだ、着手しておらず、これからの作業になるということである。ただ今のご意見も踏まえて分析をお願いしたい。

●委員

資料の54ページの「みんなでつくる将来のまちの姿」を見ると、野洲川が中央にあって中心的な核の形成の難しさが分かる。数年前までは甲賀市ばかりに商業施設の立地が進み、そのために旧甲西などの伸び悩みがあったのではないかと感じている。ようやく市内にイオンが立地したので、これから核に育てなければいけないのではないだろうか。

第1次総合計画と第2次総合計画では、どのような部分に違いがあるのか、前回とどれだけ変わっているだろうか。大きい問題では交通アクセスはまだ充実する必要がある。限りある財政の中で進めるためには、湖南省らしい特色を出す必要がある。その中で、空き家の有効活用など、できることから始めて、住んで良かったまちづくりを実現して欲しい。他のまちでも共通するような構想であるよりも、湖南省らしさをもっとアピールして欲しい。

●会長

総合計画というのは、全ての分野を網羅的に含んだ計画であるため、どこも似たものになりがちである、特に今回は国が地方創生の総合戦略づくりを進めていることで、どこも同じものになりがちである。そのような状況の中で、湖南省が独自の内容にしていくことが大事である。

●事務局

第1次総合計画は、10年前で、まだ湖南省の人口が伸びている状況であり、目標人口を6万人に設定していた。全てがまだ右肩上がりの考え方で進めていける計画内容であった。今回は全体の人口が減ることが確実な中で計画である。重点施策としては、まち、ひと、しごとくに力を入れて取り組んでいきたい。

●委員

先ほどの委員のご意見に賛成する。限りある財源でできることから着手していただきたい

い。湖南省は文化ホールをもっと活用していただきたい。野洲市の文化ホールでは、コンサートの開催や映画の上映などに活用がされており、私自身も行くことが多い。湖南省内の文化ホールももっと活用を図っていただきたい。また、十二坊温泉を大々的に宣伝し、その周辺にあまりお金使わずに、家族でゆっくり楽しめるように、遊歩道など整備してはどうだろうか。理想ばかり言っている、財政が緊縮状況の中、できなければ意味がない。足元から地道に、進めていけたら良い。

私はサイドタウンに住んでいる。高齢者や障害者が気楽に集えるサロンを整えていただいている。いきいき百歳体操をしたり、有志の人がパンを焼いたり、百円でコーヒーが飲めたりする。毎週水曜日に実施されている。こられる人は限られるが、交通弱者のお年寄りには喜んでいただいている。活動に対して補助金の支援もあるようである。「ここに住んで良かった」は、自治会単位、隣近所の地道なところから進めていけたら良い。

●事務局

資料1の44ページから45ページに掲載の「まちづくりの6つの目標」、これが、基本計画の見出しへと繋がっていく。文化の振興については、5番目の「いきいきとした暮らしをつくろう ～誇りとなる市民文化を創造するまちづくり～」に結びつくご意見であり、また、高齢者のサロンやいきいき百歳体操についてのご意見は、4番目の「ほっとする暮らしをつくろう」に関連するご意見である。ご意見を参考に基本計画の中身を検討していきたい。

●委員

先ほどの委員のご意見のように、自治会やまち協は頑張っている。その一方で行政は自治会やまち協に任せっきりの印象がある。公共施設も管理するだけで上手に運営する力がない、と感じている。じゅらくの里や十二坊温泉も一緒ではないだろうか。例えば、ホテルを合わせて建てたりすれば、人が来るのではないだろうか。文化ホールは、現状、市民にとって使いにくくなっている。利用料金を下げるなどすれば、もっと活気がでるのではないだろうか。今は、様々な制約条件があって使いづらくなっている。市民にとって使いやすいものにすべき。

宿泊できる施設も耐震の問題があって使えない状態が長くなっている。施設の使い方、運用も考え直すべきである。

●委員

私は子供を石部南小学校、石部中学校に通わせたが、地域の子育て環境はとても良いと感じた。他市と比較すると特化して進んでいるが、湖南省民は分かっていない。まちづくり協議会の取組みも凄いことだが、市民は感じていない。給食があることは、共働き家庭にとって良いこと。湖南省民にとっては当たり前になっているが、外から見ると恵まれている。もっと他にも気付かない良いことがあるのではないだろうか。自然環境、コミュニティのつながり、様々な人が子育て支援に関わろうと熱心であることも特徴だと感じている。福祉施設がたくさん立地していることで、そのような環境に育った子供たちは、抵抗なく自然に障がいのある人に対しても接することができる。

●委員

人口の減少や増加をまちづくりの課題にすること、まちづくりができないという理由にすることが間違いだと感じている。国では法律を制定し、戦略を策定しており、湖南省でも創生推進本部を立ち上げ、この審議会でも、そのような流れで議論を進めようという流

れているのでないかと思うが、湖南省版の総合戦略を策定するという固定観念に陥っているのではないか。人口の増減に拘るのはなぜだろうか。

●会長

長らく続いてきた人口の増加局面におけるまちづくりと、減少局面において求められるまちづくりは、大きく異なる。

●委員

人口を増やそうとするのは、人口操作に当たり問題があるのではないだろうか。また、「湖南省らしさ」を大事にすべきとの意見があるが、人口減少は日本全体の課題であり、これを基本に物事を考えると、湖南省らしさは出てこないのではないだろうか。

●会長

人口減少は、日本全体の問題ではあるが、全国一律、一様に進むわけではない。人口減少社会の中で進行していることは、若者が東京に行き、地方から若者がいなくなり、全体として少子化が進んでいるという実態である。そのような状況が日本全体から活力を削いでいる。国の方針は、若者を東京に集めるのではなく、それぞれの地方において、地方の発展を築く担い手、礎になって欲しい、ということである。

湖南省において、この時期に新たな総合計画をつくる、ということは、国の総合戦略の策定以前から決まり、着手していることである。国全体の人口をどうしていくかはここでの議論にはならない。国全体の人口が減少する中で、湖南省ではどのような地域づくりを進めていくのかを考えていきたい。

●委員

これからのマスタープランを策定する時点で、人口減少問題や経済の問題が反映されていないマスタープランはありえないと思う。人口問題を重要課題としているのは、人口の減少が地方の経済を縮小させ、それがさらに人口を減少させるからである。人口減少と地方創生を考えるのは当然のことだと思う。

まちづくりの理念と視点と目標についての説明を聞いたが、質問がある。視点の一つに掲げられている「自立と協働」は、社会的にも様々に注目されている。今後の具体的な方策や目標は、資料の中のどこかに出ているのだろうか。

●事務局

以前は、総合発展計画という形で、「行政が何もかもやります」という計画であった。

今後は新たな自立と協働のまちづくりを進めるということで、非常に大事な考え方として捉えてまちづくり全体を進める。具体的な施策は、基本計画の中で示していくことになるが、6つの目標の一番目に掲げている「みんなで共に進めるしくみをつくろう」が該当する。

●委員

湖南工業団地が整備され、働く場所が増え、人口が大幅に増加した。その20年後、30年後になり、今は機械がものを造っている。工場では人が要らなくなった。人が要る時代に移り住んだ人が今も住んでいる。当然、高齢化が進んでいる。高学歴社会では、優秀な若者は都会へ行き、都会の暮らしに慣れる。こちらには就職する場がない。若者はいないということになる。企業スタイルも考えなければいけない。そこを分析しなければならな

い。あるものをうまく活用し、いらぬものを省く。やはり教育が重要である。企業は優秀な人間を研究所に入れる。研究所を誘致するなどの取り組みが重要である。

資料を読んでみると文章がうまくつながっていない場所がある。精査が必要である。弥平とうがらしのブランド化などのレベルでなく、もっと大きなレベルで構想すべきである。

●委員

57 ページに様々な団体の広域連携について触れているが、ロータリークラブもあるので書いていただきたい。

また、空き家については、商工会で空き家を来年度調査し、ビジネス活用を検討していく予定である。

●委員

第3章と第4章の内容について、相互に関連しているところがきちんと書けていない。関連性を整理して書き方を見直して欲しい。

●委員

弥平とうがらしは載せたほうが良い。下田では大変真剣に取り組んでいる。頑張っているところは応援する意味で載せることは大事なことである。

●事務局

再度、文脈等を見直しさせていただく。

●委員

湖南省の特色について、近隣の栗東市や甲賀市のストロングポイントを把握された上で、進めようとしているのだろうか。

●事務局

隣接都市がどうだから、という視点では考えていない。全体として湖南省らしさや湖南省の特色を打ち出していきたい。

●委員

隣接都市と似たようなまちづくりを進めてしまうと、拮抗して埋没してしまう恐れがある。湖南省として、より、有利な部分を押し出していくべきではないだろうか。そのためにも周辺の特性を把握しなければ、淘汰される可能性もある。

●事務局

ご意見をよく踏まえて今後の検討に活かしていきたい。

●委員

このままでは、栗東市や甲賀市に吸収されるのではないかと。湖南省にはバイタリティのある人間が少ない。埋没してしまう。

●委員

甲賀と栗東が元気という声があったが、両市の人に話を聞くと、湖南省は元気で頑張っていると言われる。

●委員

湖南省独自の色を出すことによって周辺とも手を取り合って、相互補完、広域連携できる可能性がある。経済の流通を大きくすることで都市は発展する。栗東市、甲賀市にはインターチェンジなど、湖南省にはない資源があるため、連携が必要であり、少しでも湖南省にとって有利になる方策を考えるべきである。

●会長

湖南省だけが孤立した一つの国ではない、周辺との広域的な連携で発展していくことも重要である。その上で、湖南省の特色を意識して伸ばすことが重要である。

●委員

「湖南省らしさ」に拘り過ぎると良くないのではないだろうか。「らしさ」に拘って、「らしさ」を獲得しても、市民が幸せになれなければ意味がない。中国の一人っ子政策なども成功したが、国民の幸せにはつながっていない。「らしさ」だけを追い求めるのではなく市民の幸せを実現する必要がある。

●会長

今日は、基本構想について様々な議論、ご意見をいただいている。資料1の56ページに全体の体系図が示されている。この組み立てで良いか、ご意見はないだろうか。

●委員

文章を格好良く並べても駄目である。実際に進めることが重要である。

●委員

文章、表現は良く精査すべきである。

●会長

重要なことは、56ページの記載内容で湖南省がこれから進むべき方向がイメージできるか、である。何か欠けている部分があったり、余計な部分があったりしないだろうか。

●委員

理念などが変わるのもおかしい。これは網羅されていると思う。

●会長

まちの将来像、第一次総合計画と同じ表現となっている。よろしいだろうか。

●委員

基本構想の体系としては、これで良いのではないだろうか。特に問題があるところは見当たらない。むしろ、今回のポイント、強く打ち出していくものは何か、このメンバーで創り上げられたら良いと思う。

●委員

栗東、南草津、草津には、教育の施設が充実している。0歳児から教育していく施設がある。湖南省にはないために、子育て世代が流出している。

甲西駅は、立派な駅舎があり、その前に学校もある。移転の話もあったが結局実現しなかった。移転する場合には、その跡地利用やネットワークも合わせて検討する必要がある。

総合的に検討することによって実現するものである。

図書館も2つに分けるのではなく農業振興地域農用地の規制緩和をして一つに集めるなど方法があると思う。

兵庫県の三田市は昔、とても田舎だった。そこへ鉄道を引いて工業団地や住宅団地ができた。インターチェンジは文章の中に栗東インターチェンジは書いてある。竜王インターチェンジもある。いずれも隣接都市の話であり、湖南市にはない。

●委員

教育のソフト面が重要であり、人が人を育てる考え方はこれからも変わらない。地域が教育をどのようにしていくか、教育の場が不足していると感じている。今はシステム、プログラムがない状態である。ソフト面が必ず必要になる。甲西中学校の学区で保育園から中学校まで先生が情報交換をするように勧めている。こういうシステムがあることをアピールして人口増加につなげてはどうだろうか。

●委員

まちづくりの6つの目標。上位計画の言葉というものは、これくらいアバウトで漠然としているのだろうか。分かりにくく、どうとでも取れる文面となっているように感じる。誰もが手にとって分かりやすいものになると良い。

●会長

抽象的というか感覚的な目標の表現になっている、これだけで何か説明文がなければ分かりにくいので、工夫をしていただきたい。

基本構想については、大筋、承認いただいた。表現とか具体的な中身はこれからも手直ししながら進めていく。ありがとうございました。

4. その他

1) 今後の会議開催日程について

次回、7月をめどに開催の予定。決まり次第早急にご案内させていただきます。

5. 閉会

●副会長

皆様どうもお疲れ様でした。今日、午前中、小学校の卒業式があった。今日、卒業を迎えた子供たちが、十年後、社会人になってこのまちに住み続けたいと思える、きらめいた湖南市であって欲しいと願っている。皆様のご意見を反映して良い計画になればと思う。皆様ご苦労様でした。

以上